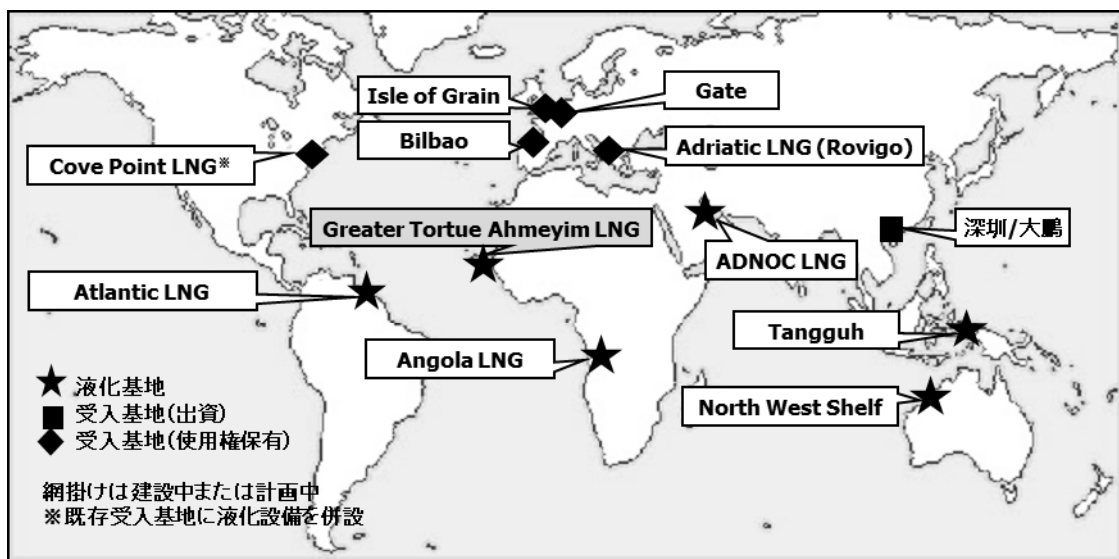


bp

(1) 企業概要

bp は、世界 79 カ国で石油・天然ガスの探鉱、開発、精製、マーケティング、再生可能エネルギー事業を展開している。2019 年の原油・天然ガス生産量¹は 378.1 万 boe/d であった。その内、原油生産量は 221.0 万 b/d、天然ガス生産量（LNG を含む）は 9.1 Bcf/d であった。稼働中の LNG プロジェクトには、豪州、UAE、インドネシア、トリニダード・トバゴ、アンゴラ等に出資参画している。

bp の LNG 液化・受入基地図



(2) LNG 関連

bp が出資する液化基地は、1977 年に稼働開始した UAE（アブダビ）の ADNOC LNG を草分けとし、豪州の North West Shelf (NWS)、トリニダード・トバゴの Atlantic LNG、インドネシアの Tangguh LNG、アンゴラの Angola LNG が操業中である。bp がオペレーターである Tangguh LNG では 2016 年 7 月、第 3 液化系列（年間 380 万トン）の増設に向けた最終投資決定（FID）を行った。なお、稼働開始時期は、2020 年から 2021 年に変更となっている。

また、新規液化プロジェクトについては、セネガル・モーリタニア沖で、米 Kosmos Energy、セネガル Petrosen、モーリタニア SMHPM と共に、第 1 段階として年産 250 万トンの Greater Tortue Ahmeyim LNG (FLNG) を推進している。2018 年 12 月に FID 済みであり、2022 年のガス生産開始を目指していたが、2020 年 4 月、Golar LNG に対して、コロナ感染拡大により期日までに浮体 LNG 生産設備 GIMI を引き取る準備ができない旨のフォースマジュール通知を発行した。

¹ bp が 19.75% 出資するロシア国営石油会社 Rosneft 持ち分を含む。

IV. 主要企業別 LNG 事業動向

bp が出資する LNG プロジェクト

国名	プロジェクト名 (Train名)	液化能力 万トン/年)	生産開始	出資者	主要仕向地
UAE (アブダビ)	Abu Dhabi (ADGAS) (Train 1, 2)	560	1977年	ADNOC LNG (ADNOC 70%, 三井物産 15%, bp 10%, Total 5%)	アジア
	(Train 3)		1994年		
オーストラリア	North West Shelf (Train 1-2)	500	1989年	Woodside 16.7%, Shell 16.7%, BHP 16.7%, bp 16.7%, Chevron 16.7%, M M I (三菱商事/三井物産) 16.7%	アジア
	(Train 3)	250	1992年		
	(Train 4)	440	2004年		
	(Train 5)	440	2008年		
	Browse	NWS LNGへの供給を 計画中	2026-2027 計画中)		
トリニダード トバゴ	Atlantic LNG (Train 1)	300	1999年	Shell 46%, bp 34%, C I C 10%, NGC 10%	米州
	(Train 2)	330	2002年	Shell 57.5%, bp 42.5%	
	(Train 3)	330	2003年		
	(Train 4)	520	2005年	Shell 51.11%, bp 37.78%, NGC 11.11%	
インドネシア	Bontang ※1 (Train A-B)	540	1977年	PT Badak NGL (Pertamina 55%, VIC O 20%, Total 10%, J I C O 15%)	アジア
	Badak II (Train C, D)	540	1983年		
	Badak III (Train E)	280	1989年		
	Badak IV (Train F)	280	1993年		
	Badak V (Train G)	280	1998年		
	Badak VI (Train H)	300	1999年		
	Tangguh (Train 1, 2)	760	2009年	bp 40.22%, M I Berau B.V. (三菱商事 56%, NPEX 44%) 16.3%, C N O O C 13.9%, 日石ペラウ石油開発 12.23%, K G Berau Petroleum 8.56%, K G Wiriagar 1.44%, エルエヌジー・ジャパン 7.35%	アジア
	(Train 3)	380	2021年 建設中)		
アンゴラ	Angola LNG (Train 1)	520	2013年	Chevron 36.4%, Sonangol 22.8%, bp 13.6%, Total 13.6%, ENI 13.6%	欧米
モーリタニア・ セネガル沖合	Greater Tortue Ahmeyim LNG 浮体式)	250 (→1,000)	2022年 (建設中)	bp 61%, Kosmos Energy 29%, Petrosen 5%, SMHPM 5%	N.A.

※1：インドネシアBontangプロジェクトにも、出資会社であるVIC Oを通して参画している。

LNG 調達契約については、2020年に稼働を開始した米国 Freeport LNG の第2液化系列において年間440万トンの液化加工契約を締結している。また、現在計画中の米国 Calcasieu Pass LNG やカナダ Woodfibre LNG、モザンビーク Coral South FLNG 等から LNG 調達契約を有している。

bp の LNG 契約(調達)

輸出国	プロジェクト	契約期間 (契約年数)	契約数量 (万トン/年)	受渡条件
インドネシア	Tangguh (Train 1, 2)	2006-2026年 (20年)	60 (韓国SKと共同購入)	DES
エジプト	SEGAS LNG	2005-2025年 (20年)	110	FOB
トリニダードトバゴ	Atlantic LNG (Train 2, 3)	2002-2021年 (19年)	80	FOB
	Atlantic LNG (Train 4)	2006-2025年 (20年)	250	FOB
オマーン	Oman LNG	2018-2025年 (7年)	110	FOB
パプア・ニューギニア	PNG LNG	2018-2023年 (5年)	45→90	N.A.
アメリカ	Freeport LNG (Train 2)	2019-2039年 (20年)	440	FOB (液化加工契約)
	Calcasieu Pass LNG	2022-2042年 (20年)	200	FOB
カナダ	Woodfibre LNG	2023-2038 (15年)	75	FOB
モザンビーク	Coral South FLNG	2022-2042年 (20年以上)	340	FOB
モーリタニア/セネガル	Greater Tortue Ahmeyim LNG	2022-2042年 (20年)	245	FOB

bp が出資またはキャパシティ使用权を保有する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
イタリア	Adriatic LNG (Rovigo)	Terminale GNL Adriatico Srl (ExxonMobil 70.7%, Qatar Petroleum 22%, Edison 7.3%)	576	2009年
オランダ	Gate	Vopak 47.5%, Gasunie 47.5%, OMV 5%	880	2011年
スペイン	Bibao	Bahía de Bizkaia (Enagas 50%, EVE 50%)	520	2003年
イギリス	Isle of Grain (Expansion, Phase 1)	National Grid	330	2005年
アメリカ	Cove Point LNG, MD (液化基地を併設)	Dominion Energy	1,377	1978年
中国	広東省深圳/大鵬 (Guangdong/Dapeng)	Guangdong Dapeng LNG (CNOOC Gas & Power 33%, bp 30%, Guangdong Province Consortium 31%, Hong Kong Electric 3%, Hong Kong and China Gas 3%)	680	2006年

bp の LNG 供給契約について、2019 年 9 月、韓国ガス公社 (Kogas) との間で、2025 年から 15 年間 (オプションで 3 年間延長可能)、年間 158 万トンの LNG を販売する契約を締結した。LNG は米国 Freeport LNG または Calcasieu Pass から出荷される。2020 年 2 月、bp、Kosmos Energy およびパートナー企業は、bp Gas Marketing との間で、Greater Tortue Ahmeyim プロジェクト第 1 段階で生産される LNG を年間 245 万トン供給する最長 20 年間の LNG 売買契約 (SPA) を締結した。2020 年 7 月、中国の新奥集団 (ENN)、佛燃能源 (Foran Energy) の 2 社と、LNG を気化させた天然ガスを 2021 年 1 月から 2 年間、年間 30 万トンを提供するガス供給契約を締結した。bp が 30% 出資している広東大鵬 LNG (GDLNG) 受入基地を通じて LNG を受入れて気化される。

bp のポートフォリオ LNG 契約(供給)

輸入国	買主	契約数量 万トン/年)	供給開始	契約年数	受渡し条件
日本	JERA	合計800	2012年	2012-2028年 (6年)	DES
日本	JERA	最大120	2017年	2017-2034年 (7年)	DES
日本	関西電力	合計最大1,300	2015年	2015-2038年 (約23年間)	DES
日本	関西電力	50	2017年	2017-2032年 (15年)	DES
中国	CNOOC	150	2019年	2019-2039年 (20年)	DES
中国	中国華電集团公司 (China Huadian Corporation)	最大100	2020年	2020-2040年 (20年間)	N.A.
中国	新奥集団 ENN (Group)	30	2021年	2021-2023年 (2年間)	※広東省深圳/大鵬LNG基地 経由での気化ガス受入
中国	佛燃能源 (Foran Energy Group)	30			
韓国	韓国ガス公社 (Kogas)	158	2025年	2025-2040年 (15年)	N.A.
シンガポール	Pavilion Gas	40	2019年	2019-2039年 (20年)	FOB
タイ	PTT	100	2017年	2017-2027年 (10年間)	N.A.
台湾	CPC	70	2017年	2017-2022年 (5年)	DES
インドネシア	PLN	16カーゴ (約100万トン)	2020年	2020-2035年 (15年間)	DES

(3) 今後の戦略

2020年8月、bpは今後10年の新戦略として、低炭素支出を2030年までに年間約50億ドルに増加させ、再生可能発電容量を50GWに増加する一方、石油・ガス生産は2019年比で40%縮小することを明らかにした。LNGポートフォリオは現在の年間1,490万トンから、2025年までに2,500万トン、2030年までに3,000万トン以上を目指す。

財務体質の強化として、2019-2020年の2年間において、100億ドルの資産売却を目標に掲げている。2019年8月、Prudhoe Bayガス田、及びTrans Alaska Pipeline事業を含むアラスカ州における上流・中流全事業を米Hilcorpに56億ドルで売却することに合意し、2020年4月に売却完了した。2020年1月、北海Andrew、及びShearwater資産をPremier Oilに売却する計画を発表した。

低炭素化事業への取組みとして、2020年2月、2050年までにネットゼロ企業となる計画を明らかにした。ネットゼロへの5つの目標は、(1) 2050年までに自社事業全て絶対水準でネットゼロ化。(2) 2050年までに自社石油・ガス生産を絶対水準でカーボンネットゼロ化。(3) 2050年までに販売する諸製品の炭素強度を50%削減。(4) 2023年までに自社主要石油・ガス処理拠点でメタン測定装置を設置し、メタン排出・漏洩量を50%削減。(5) 段階的に非石油・ガス事業投資比率を増加、としている。